

# 大正大学 令和5年度\_第Ⅲ類科目 アントレプレナーシップ育成 教育プログラムについて

2024年2月27日

大正大学

教学マネジメント推進機構

学修支援センター(DAC)

前田 長子

0

## 1. 大正大学の アントレプレナーシップ育成教育プログラムについて

1

## 1. 大正大学が目指す地域戦略人材とは

大正大学が育成する  
新時代の地域リーダー像



地域戦略人材

### 地域戦略人材とは

多面的な性質をもつ地域課題解決に向けて、  
異なる専門分野の多様な人材を統合し、調整する新しいリーダー

#### <4つの要素>

- ✓ 主体的に解決策を提起する態度・意識
- ✓ 具体的課題に対する的確な事実認識、解決のための知恵を生み出す知識・技能
- ✓ 学融合からの視点、多様な視点からの課題アプローチ
- ✓ 複数分野のネットワークの結節点となるためのコミュニケーション能力

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

2

## 2. アントレプレナーシップ育成教育の3つのコース

### アントレプレナーシップ育成教育の3つのコース

新ビジネス開拓、既存の仕事や事業の改革、人やコミュニティづくりなど新しいことに一歩を踏み出し、  
社会に貢献できる能力を「知識」と「実践」の融合により修得する科目である。

講義では、様々な分野で活躍する方々から話を聞き、地域を題材とした学びと活動を一体化したワークショップやインターンシップなどの実践的な学びを通して、新しいことにチャレンジするアントレプレナーシップの修得を目指す。

#### A. 起業人材コース (アントレプレナー)

地域に新しい価値を創造するビジネスを起業する人材

#### B. 企業内リーダーシップ人材コース (イントレプレナー)

地域企業や組織内においてイノベーションによる活性化と業績向上に貢献する人材

#### C. 地域戦略人材コース (公務員・地域貢献人材)

地域創生戦略志向とビジネスマインド併せ持つ人材

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

3

### 3. アントレプログラムの単位取得について

#### ■アントレプレナーシップ育成教育の履修モデル

A. 起業人材コース  
(アントレプレナー)

B. 企業内リーダーシップ人材コース  
(イントレプレナー)

C. 地域戦略人材コース  
(公務員・地域貢献人材)



基礎科目、スキル科目、実践科目ともに4年生の春学期までに24単位取得できるように計画を立てる

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

4

### 4. アントレ育成教育プログラムで育成すべき資質と能力

#### 【地域戦略人材とは】

多面的な性質をもつ地域課題解決に向けて、  
異なる専門分野の多様な人材を統合し、調整する新しいリーダー

知識・技能

- ①汎用的知識: society5.0の社会で活動するにあたって必要となる基礎知識 ※主に基礎科目
- ②データドリブン: 常に明確な根拠に基づき、自ら意思決定を行い、判断・アクションできる力
- ③人的ネットワーク構築力: 対人力を発展させ、様々な領域での良質な人間関係を構築する力
- ④力強いリーダーシップとマネジメント能力: 多様性を理解しながら合意形成し、前進できる力

思考・判断・表現

- ⑤未来をイメージできる力: 成し遂げたい目標を定めて具体化し、行動計画を立て実行する力
- ⑥創造性とイノベーション: 既存の枠組みにとらわれず、新しい価値を創り出す力
- ⑦社会の課題解決力: 解決したい社会課題を自ら解決する力、もしくは解決しようとする力
- ⑧探究心と意思決定能力: ものごとの本質を射抜き、判断や意思決定することができる力

関心・意欲・態度

- ⑨ポジティブシンキングとチャレンジ精神: どんな場面においてもリスクを恐れず果敢に挑む力
- ⑩機会の追求: 限られた資源を最大限に活かし、機会(チャンス)を追求して挑戦する力
- ⑪コミットメント: どんな困難があっても、目標達成に向けて最後まで諦めずにやり遂げる力

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

5

## 【参考】アントレ科目のシラバスの到達目標事例

アントレのすべての科目において以下の11のうちどの資質・能力を重点的に育成するのかということをご科目教員に検討してもらい、シラバスに落としている。

### 起業人材コース

科目:マイスターワークショップ(実践科目)  
サブタイトル:チェンジメーカーズ・コミュニティ  
担当教員:山本 繁 単位:6単位(通年)

テーマ /Thema	自分自身の「熱い想い」に根差したプロジェクトを形にし、起業家/チェンジメーカーとしての第一歩を踏み出す
授業の目的 /Class Objectives	この授業では、まず初めに、自分自身の「熱い想い」や「実現したい世界観（やりたいこと）」を他者に伝えるように言語化していきます。その上で、その世界観を実現するための「機会」を探求していきます。次に、「解決すべき課題」とそのための「事業アイデア」を構想し、「小さなプロジェクト」を行ってみます。最後（2024年2月）に「DEMODAY」を開催します。DEMODAYでは、実現したい世界観、そのためのプロダクトやサービス、今後の活動計画等を発表し、起業家/チェンジメーカーとしての第一歩を踏み出します。 以上の活動を通して、未来の起業家/チェンジメーカーにとって必要となる資質・能力の修得を目指します。 この授業は、「熱い想い」や「実現したい世界観」を持っている方、または授業を通して見つけたい方を対象としています。やりたいことが見つかった人もこれからの人も、どちらも歓迎します。モットーは「Everyone a Changemaker（誰もがチェンジメーカー）」です。
授業の到達目標・DPとの関連性 /Relevance to Class Goals and DP	この授業を修了すると、以下のような資質・能力が身に付きます。 ①「熱い想い」や「実現したい世界観（やりたいこと）」を他者に伝えるように言語化することができる（未来をイメージできる力） ②「機会」を発見するとともに、「解決すべき課題」と「事業アイデア」が明確になっている（創造性とイノベーション） ③具体的な「小さなプロジェクト」を開始することができる（ポジティブシンキングとチャレンジ精神、社会の課題解決力） ④生涯にわたり切磋琢磨できる「熱い想い」を持った同世代の友人・仲間・メンターに恵まれている（人的ネットワーク構築力） ⑤①から④を再現できる力が身に付いている

### 企業内リーダーシップ人材コース

科目:マイスターワークショップ(実践科目)  
サブタイトル:コンサルティング  
担当教員:西川 世一 単位:2単位

テーマ /Thema	社会の課題解決～中小企業の後継者不足問題について～
授業の目的 /Class Objectives	・中小企業が抱える最大の課題でもある「後継者不足問題」について学び、実体験を聞くことで自分事として課題を捉え、理解する ・課題解決のために、中小企業、地域、国、学校など、どのような働きかけや仕組みがあれば良いか企画する力を身につける ・企画案を中小企業社長へプレゼンテーションし、アドバイスや意見を踏まえ改善することで、実現可能な企画案にし、自身のアイデアが企業活動に影響する体験を通じ、社会の一員であることを再認識する
授業の到達目標・DPとの関連性 /Relevance to Class Goals and DP	中小企業を取り巻く現状と課題が正しく理解できている（社会の課題解決力） ・企業と地域、自治体、学校など、課題解決のために必要な協力者の仮説を立てることができる（未来をイメージできる力） ・ビジネス視点をもって課題解決策を企画することができる（創造性とイノベーション） ・相手に共感を生み出すプレゼンテーションができる（人的ネットワーク構築力） ・企業の課題解決に留まらず、その先に地域の活性化、日本経済の発展をに繋がる視点をもつことができる（機会の追求）

## 2. 新教育プログラム開始に向けてのR5の取り組み

# 1. アントレのコース選択と履修登録に向けてのスケジュール

令和5年度履修までのスケジュール	登録	日程
教員への説明会 学生への説明会		2022年11月24日・12月2日 2022年12月5日～8日
学生への希望調査(プレ調査)※コース選択と科目選択		2022年12月5日～17日
コース別説明会 (各コース3回実施)		2023年1月17日～19日
アントレプレナーシップ育成教育プログラム履修登録 (コースのみ選択)	コース登録	2023年1月23日
令和5年度 春学期履修ガイダンス ※履修登録にむけて学修計画の作成と個別面談実施		2023年3月下旬
プログラム履修登録修正(コース確定)	コース確定	2023年3月下旬
春学期履修登録	履修科目確定	2023年4月上旬

※令和6年度は上記にプラスしてコース選択のための事前授業見学会なども実施済

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

## 【参考】学修計画書作成 & 提出と個別相談会

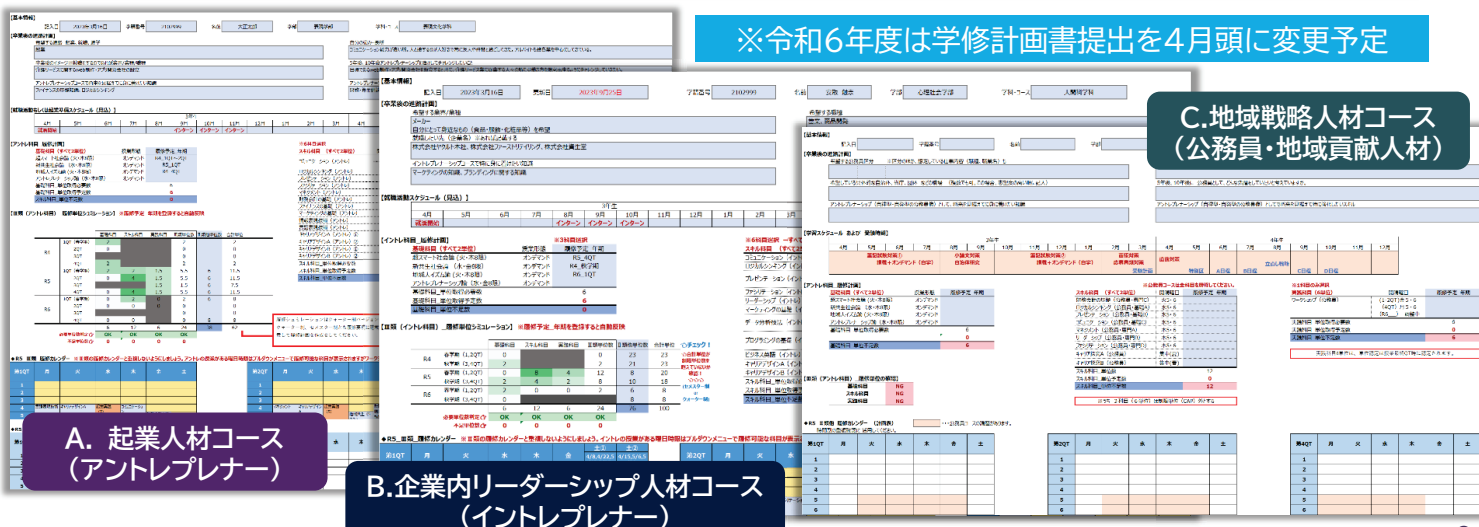
学修計画書提出: 3月24日(金)締め切り  
履修登録開始: 3月27日(月)  
履修登録個別相談: 3月27日(月)～29日(水)  
各コースごとのフォーマットを使って学修計画を作成し、提出を必須とした。(提出率92.7%)  
作成後はLMSの修学カルテにアップロード

※令和6年度は学修計画書提出を4月頭に変更予定

A. 起業人材コース  
(アントレプレナー)

B. 企業内リーダーシップ人材コース  
(イントレプレナー)

C. 地域戦略人材コース  
(公務員・地域貢献人材)



Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

## 2. 教員の育成と教育の質保証のためのFD実施内容

約8割の教員が実務家且つ大学講師未経験者であることもあり、教育プログラム開始前、開始後の研修会・FDを計画的に実施することで、教育の質向上を図っている。

FD・研修会名	実施日	方法	参加教員数	対象教員			目的
				アントレ	イントレ	地域人材	
シラバス勉強会	1月14日	オンライン	20名	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ シラバスの作成目的と項目理解</li> <li>✓ 到達目標のレベル感合わせ</li> <li>✓ 個別のシラバスのブラッシュアップ</li> </ul>
講義法ワークショップ	2月8日	対面	23名	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教育目標達成にむけて学修成果を高めるための授業設計や講義の手法の検討と習得</li> <li>✓ シラバスの見直し</li> </ul>
LMS勉強会	3月31日	対面	30名	○	○	別日実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ LMSの基本操作習得</li> <li>✓ 学修成果の可視化の推進</li> <li>✓ 授業管理のデジタル化促進</li> </ul>

※上記は令和5年度開始に向けてのFDだが、令和6年度も上記と同様のFDを実施済または実施予定

## 3. 授業改善にむけてのふり返しMT(コースごとの取組)

学生像や学生のレベルなど教員の想定と現実のGAPを正しく認識し、次のQTや次年度の教育目標達成に向けて、授業改善に取り組んできた。

ふり返しMT	目的	実施日	方法	参加教員数	対象教員			目的
					起業人材	企業人材	地域人材	
地域戦略人材コース全体MT	定例MT	月1回	対面	1名			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 毎月の状況把握と授業改善についてコア教員との定例会</li> </ul>
企業内リーダーシップ人材コース_スキル科目ふり返し	期中ふり返し	6月3日	オンライン	8名		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1QTのふり返しと2QTに向けての授業改善について</li> </ul>
起業人材コース_マイスターワークショップ科目ふり返し		6月30日	対面	7名	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 6月までのふり返しと7月以降の授業改善について(通年科目)</li> </ul>
企業内リーダーシップ人材コース_実践科目_ふり返し		7月29日	オンライン	8名		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 春学期のふり返しと秋学期に向けての授業改善について</li> </ul>
企業内リーダーシップ人材コース_スキル科目&実践科目ふり返し	期末ふり返し	1月27日	対面	12名		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 年間のふり返しと次年度の授業改善について(ワークショップ型で実施)</li> </ul>
起業人材コース_スキル科目ふり返し		2月19日	オンライン	11名	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 年間のふり返しと次年度の授業改善について</li> </ul>
起業人材コース_マイスターワークショップ科目ふり返し		3月7日	対面	9名	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 年間のふり返しと次年度授業改善について</li> <li>✓ 次年度新規担当教員との情報共有</li> </ul>

【参考】教員アンケート結果(授業運営や設計に関する自己評価)



授業改善にむけての現状把握の取組 (3コース共通:教員アンケート結果)

成績評価の適切性(7.5)や学修内容の量と難易度(7.6)については、各教員も課題認識が高く、秋学期にむけて各授業ごとに課題点を明確にして改善していく方向。学生の意欲や積極性(7.7)に関しては「真面目に取り組んでいるが、一歩前に出ることに躊躇する学生が多い」という本学の学生気質が共通課題である。

【2QT終了時点】アントレ全体の授業評価 ※10段階評価

設問	起業人材		企業内人材		地域戦略人材		総計
	スキル科目	スキル科目	実践科目	スキル科目	実践科目		
総計	8.1	7.8	7.3	8.4	9.8	7.9	
【授業目標や目的】を明確に設定できていたか	8.4	8.2	7.6	8.5	9.0	8.2	
【学習内容と量と難易度】の適切さ	7.9	7.7	6.4	8.8	10.0	7.6	
【教材】の適切性、学生の理解度習熟度の一致度	8.2	8.0	7.1	8.5	10.0	8.0	
【成績評価】方法の適切さ	8.1	7.3	6.1	8.3	10.0	7.5	
【学生の意欲や積極性】	7.5	7.7	7.4	8.8	10.0	7.7	
スムーズな【授業運営】ができたか	8.4	7.8	8.9	7.5	10.0	8.3	

- 平均スコアが高い項目
1. スムーズな授業運営(8.3)
  2. 目的や目標設定(8.2)
  3. 教材の適切性(8.0)

- 平均スコアが低い項目
1. 成績評価の適切性(7.5)
  2. 学修内容と量と難易度(7.6)
  3. 学生の意欲や積極性(7.7)

4. 正課外の取り組み①SHODAI BUSINESS CAFÉ



【目的】授業としてではなく、社会の現場で活躍する人物とビジネスや起業に関して、気軽に意見交換ができる場を継続的に提供し、学生を支援する。在学中だけでなく、卒業後も交流を図れる場をめざす。

➤ SHODAI BUSINESS Café

日時: 令和5年7月28日(金)16時~17時30分  
場所: プロダクトスタジオⅢ(すがも街なかキャンパス)  
ファシリテーター: 瀬下翔太(アントレコース非常勤講師)

参加者: 学生3名

参加学生の感想:

ビジネスや起業に興味のある学生は、まず何をしたら良いのかわからないと言う壁にあたるかと思います。このようなコミュニティがあればそのような学生をスタートダッシュから支援できるのではないかと思います。



▲SHODAI BUSINESS Caféの様子

➤ 今後の予定

ビジネス・社会の現場で活躍する方々をゲストに迎え、2024年4月から定期的に開催。

➤ SHODAI BUSINESS CAFÉからのスピノフ

■「ビジネス研究会」(課外活動団体)の発足

アントレプレナーシップ育成教育プログラムを受講している学生が中心となり、令和5年11月に起業に向けてビジネスアイデア創出のための団体(メンバー24名)が立ち上がった。定期的な活動をしながら、外部の勉強会などにも参加している。



▲ジャーナリストカフェに参加

## 5. 正課外の取り組み②選抜型インターンシップの開始

### 【内容】

企業内リーダーシップの学生に対して、企業側が独自に大正大学の学生向けに設定した選抜型インターンシップ

### 【実施目的】

- インターンシップ参加により、学生自身の視野を広げる機会とし、同時にビジョン意識を高める
- 学んだことを実務につなげ、実務を通じた気づきで学びの質を高めるというサイクルを生み出す
- インターンシップ受入企業様の事業・業界の理解と人的ネットワーク構築をはかる
- 働くことと自己実現の関連付けを行う

### 【スケジュール】

### 【実施企業と参加学生数】 9社に16名の学生が参加

令和5年度のスケジュール	内容	企業名	日数	学生数
7月20日(木)～	学生への告知と募集開始	(株)セブン&アイ・フードシステム	9日間	1名
～7月28日(金)	応募締め切り	東武トップツアーズ(株)	4日間	3名
～8月 4日(金)	エントリーシートの提出期間	(株)加藤製作所	3日間	1名
～8月11日(金)	応募学生全員と個別面接の実施	(株)ディスコ	3日間	2名
～8月14日(月)	面接結果連絡(派遣先決定、可否)	(株)ビタブリッドジャパン	3日間	2名
8月24日(木)～8月25日(金)	事前研修 (200分×2日間)	(株)サダマツ	3日間	2名
8月28日(月)～9月22日(金)	インターンシップ期間	バリューマネジメント(株)	6日間	1名
10月14日(土)	学内報告会実施(200分)	(株)ビックカメラ	5日間	2名
		(株)NTT東日本	5日間	2名

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

## 【参考】選抜型インターンシップ後の企業 & 学生アンケート

次年度以降、選抜型インターンシップの規模拡大と社会接続に効果的な展開をめざす。今年度受け入れ企業へのヒアリングを通して社会のニーズと本学の学生の状況を的確に把握し、アントレ教育(授業を通しての能力開発)と連動した形で、質の高い選抜型インターンシップに取り組んでいく

### 【受け入れ企業様へのアンケート】7社\_集計結果

### 【参加した学生へのアンケート】結果

行ラベル	学生の評価 (平均)	企業側の重視 項目 (平均)	差
① 基本姿勢	4.4	4.9	-0.4
職場で適切な態度や振る舞いができる	3.9	4.9	-1.0
身だしなみや言葉遣いなど社会常識を身につけている	4.4	4.7	-0.3
責任感をもって業務に取り組む姿勢がある	5.0	5.0	0.0
③ 学びの吸収力	4.3	4.6	-0.3
フィードバックを正しく受け取り、それを活かそうとする姿勢がある	4.4	4.6	-0.1
新しいスキルや知識を吸収し、活かそうとする姿勢がある	4.1	4.6	-0.4
⑤ イニシアティブ	3.8	3.9	0.0
自発的に新しいアイデアを提案し、積極的に行動している	4.0	4.1	-0.1
自分から仕事を見つけ、リーダーシップを発揮する姿勢がある	3.6	3.6	0.0
⑥ 課題解決力	4.1	4.0	0.1
データドリブンな思考をもって課題発見に取り組む姿勢がある	4.2	3.7	0.5
課題解決につながる独創的なアイデアなどを持っている	3.8	3.9	0.0
自ら問題を分析し、効果的な解決策に取り組む姿勢がある	3.8	4.3	-0.5
様々な業務上の課題に対して、柔軟に対処できる	4.6	4.3	0.3
⑦ 視点・視野・視座	4.3	4.3	-0.1
顧客や相手の立場で考え、行動することができる	4.0	4.9	-0.9
担当業務だけでなく、仕事全般に対して、幅広い興味関心を持っている	4.4	4.1	0.3
中長期視点から自らのビジョンやキャリアを考えている	4.3	4.0	0.3
⑧ コミュニケーション&チームワーク	4.2	4.9	-0.6
円滑なチームワークや健全な人間関係を築くことができる	4.3	4.7	-0.4
業務上、必要なコミュニケーション能力を身に付けている。	4.1	5.0	-0.9
④ 仕事へのコミットメント	4.8	4.6	0.1
インターン期間中終始、業務に積極的に取り組む姿勢がある	4.7	4.6	0.1
与えられたミッションやプロジェクトを最後までやり遂げようとする姿勢がある	4.8	4.7	0.1
総計	4.3	4.4	-0.1

#### 1. 経験したことの価値と繋がり

インターンシップはこれまでの学修や経験と繋がっており、無駄な経験はないことを実感できた

#### 2. 実務経験と人間関係の重要性

実務では多面的に評価されることを学んだ/業務上での人間関係の大切さを実感した/社会人としての感覚を少しつかめた/営業の実際のやり方を見ることができ、次の機会へつなげるスキルの必要性やビジネスの楽しさや学んだ/興味のある分野に対する理解が深まり、選考に有利な情報を得られた/D2CビジネスやECサイトの裏側を知ることはできた/昇給の仕組みへの理解が深まった

#### 3. インターンシップの意義

インターンシップを通じて会社の実態や必要なスキルを理解した/今後の就活に大いに役立った/自身の在りたい姿が明確になり、尊重し合う社員の一人として会社に貢献したいと感じた/小さな幸せを提供できる仕事に就きたいと確信した

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.



### 3. 令和5年度(初年度)を終えての振り返り

### アントレプレナーシップ育成教育プログラム受講後の『学生アンケート』

実施時期:2024年1月15日(月)~1月31日(水)

対象学生:全3コースで共通アンケート(forms)を実施

実施目的:

- ① 地域戦略人材育成の成果を評価する手段として実施。PROGの結果を合わせて令和5年度のアントレ教育の取り組みを評価し、次年度の授業改善につなげる
- ② R6コースごとの地域戦略人材育成の目標設定の検討材料とする

主な質問項目:

- ① プログラムへの期待 (2年生終了時点)
- ② プログラムの評価 (3年生終了時点)
- ③ 履修前後における学生自身の変化

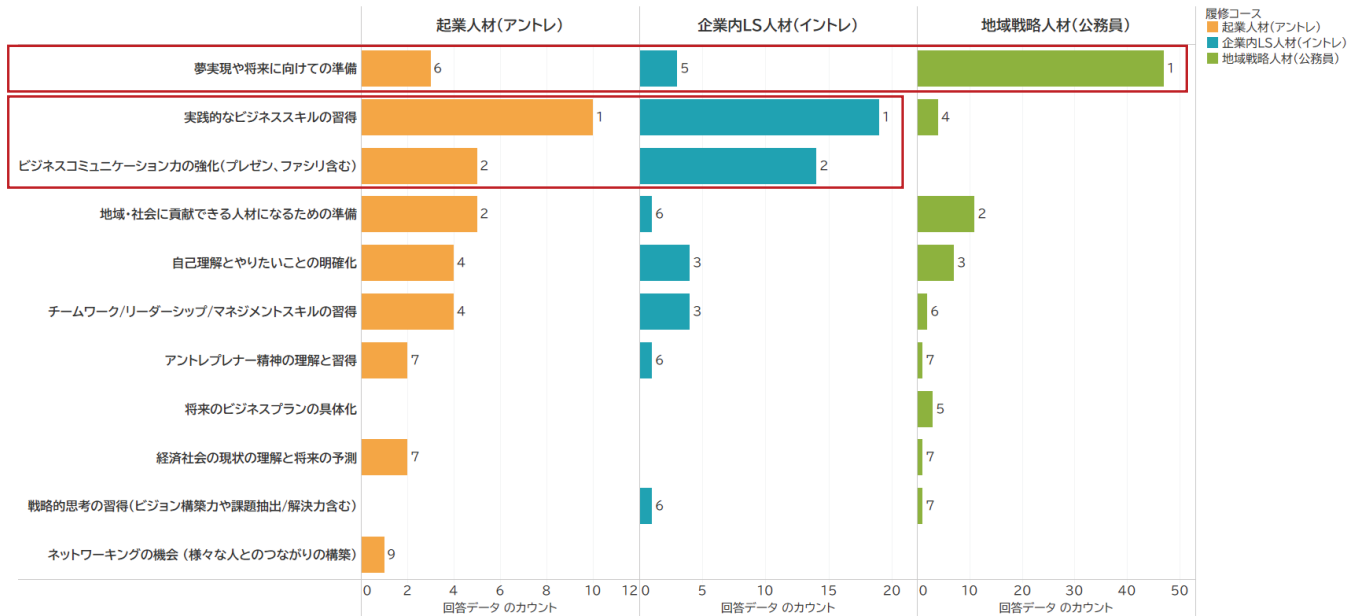
回答学生数:

	履修学生数	回答学生数	回答率
起業人材(アントレコース)	130人	36人	27.7%
企業内リーダーシップ人材(イントレコース)	164人	47人	28.7%
地域戦略人材(公務員コース)	88人	78人	88.6%
	382人	161人	42.1%

## 1. 受講前のプログラムへの期待(単一選択)

✓ プログラムに対する期待(単一選択)は公務員が夢実現や将来に向けての準備が最も多く、アントレ、イントレはともに実践的なビジネススキルの習得やビジネスコミュニケーション力の強化がもっとも高い。

プログラムへの期待 (SA)

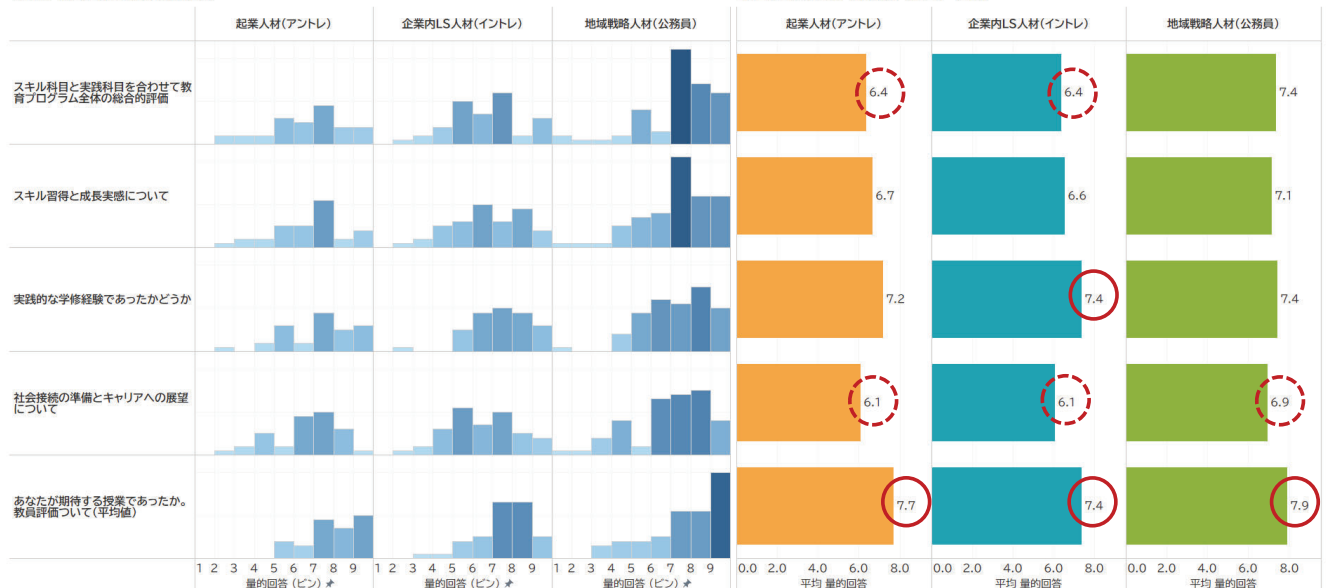


## 2. 学生のプログラム全体の評価(分布とスコア平均)

✓ プログラム全体に対する評価は公務員が全体的に高く、社会接続の準備とキャリアへの展望以外はすべてスコアが7以上になっている。特に教員評価は7.9と高め。アントレは教員評価が7.7と高く、イントレは実践的な学修と教員の評価が同率で7.4。プログラム全体の総合的評価はアントレもイントレも6.4とやや低めで要因の確認と改善が必要

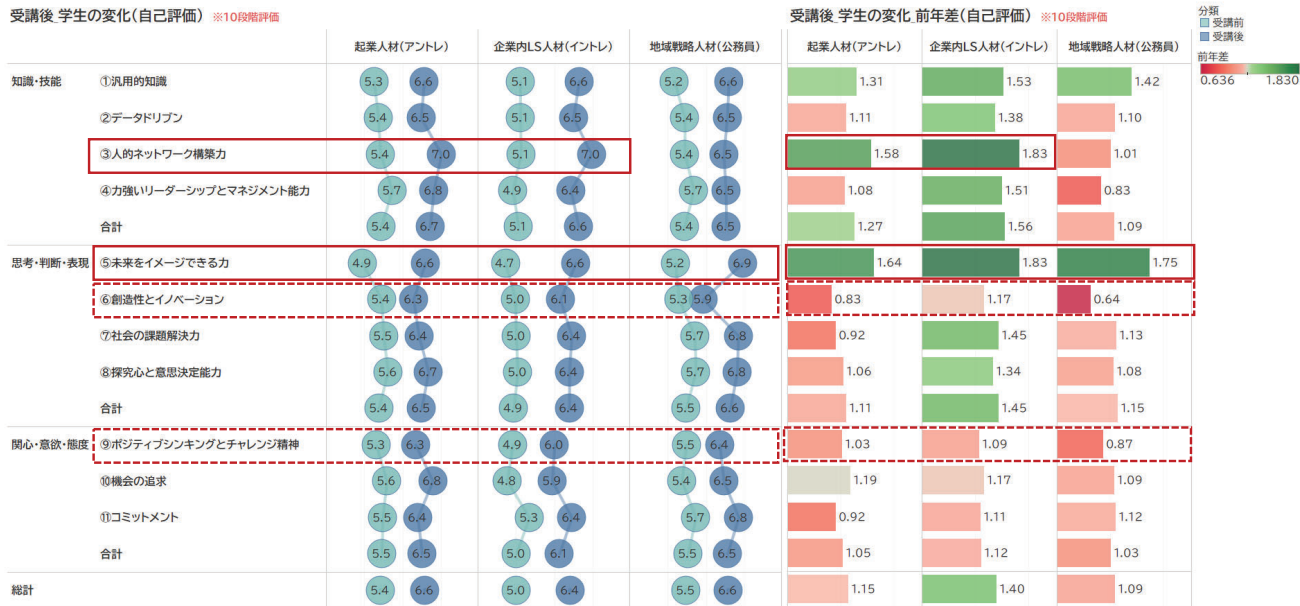
プログラム全体への評価(分布)

プログラム全体への評価(スコア平均)



### 3. 受講後の学生の変化(自己評価)

✓ プログラムに対する総合評価はアントレ、イントレともにスコアは高くないが、受講後の学生の変化から学生自身が一定の成長実感はもっている想定される。アントレ、イントレ、公務員とも最も伸ばした資質・能力は「未来をイメージできる力」であるが、伸ばしていない資質・能力はアントレ、公務員は「創造性とイノベーション」、イントレでは「ポジティブシンキングとチャレンジ精神」である



### 4. 受講後の学生アンケートのコメントより

	プログラム総合的評価のスコア(10段階)	
	👍 高評価(スコア7以上)のコメント	😞 低評価(スコア4以下)のコメント
起業家 人材コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スキル科目で実用的なスキルを学びつつ、学んだスキルをグループワークや面接練習などで実践的に練習を重ねられるところが良いと感じた。</li> <li>✓ 他学科の学生と交流する機会が多かったため、考え方など刺激になり、交友関係も広げることができたと感じるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スキルを得ることはできなかったと感じるから。</li> <li>✓ スキル科目に関して言えば、ワークの多い授業が大半であったが、具体的にスキルが身についたかと言えばそうでもなく、ただ手法としてのスキルを学んだ感に過ぎなかったから。</li> </ul>
企業内LS 人材コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 進路に限らず様々な業界、日常で使えるスキルを身に付けることが出来たから。</li> <li>✓ 授業スライドにおける正確性やスキルの説明の際における実践例の紹介などが分かりやすく、同時にグループワークの充実性がしっかりしていたと考えたからです。</li> <li>✓ スキル科目・実践科目ともに、社会に出た際に役に立つ、むしろ習得しなければならないと感じる学びだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実践的なスキルを身に付けられた自信がない。</li> <li>✓ 入門や基礎といったものでもかなり難しいものも多く、ついていくのが大変だったから。</li> <li>✓ 各授業の課題の量がとても多く、処理しきれないと感じることが多かった。</li> <li>✓ 短期授業なため、最終プレゼンテーションの準備時間が足りず、少々雑な進み方なものがあつた。</li> </ul>
地域戦略 人材コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現在の社会を客観的に見るだけでなく、将来の予測や課題解決に向けて必要なことを考える授業が比較的多かったからです。</li> <li>✓ 講義内容が、実際に社会人になった際に必要なスキルや知識を学べて、自分なりの答えを見つけることが出来たから。</li> <li>✓ 自分のこれからの活かせることを多く学ぶことが出来た。特にこのコースでは自分の進路先への勉強をすることが出来たので、このプログラムには大変満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 授業が5、6限のため、帰宅する時間が遅くなったり、アルバイトに入れないことがほとんどでした。そのため、復習する時間取れないことや生活リズムが崩れることが多々ありました。</li> <li>✓ 非常に良い教育プログラムだと思うが、アントレプレナーシップなどの精神的なものを養う機会が少なかったと思う。</li> </ul>

## 『PROGテスト』実施について

実施時期:2023年12月16日(土)~1月20日(土)

対象学生:2021年度入学生(現3年生) ※3回目の受験 / オンラインで実施

実施目的(学生):

- ① 以前受験した結果と比較し、自分自身の成長度合(学修成果)を確認する
- ② 現在の強み・弱み何かを把握し、就職活動および卒業後の社会活動に備える  
→ 結果を踏まえて、本学の学生の成長度合いを確認し、アントレ教育の質の向上・改善につなげていく

テスト内容:

- ① リテラシー(30問:45分)
- ② コンピテンシー(195問:40分) 計 約1時間半

受験学生数:

	現3年生数	受験学生数	回答率
リテラシー	1008人	576人	57.1%
コンピテンシー	1008人	559人	55.5%

分析対象者学生数:

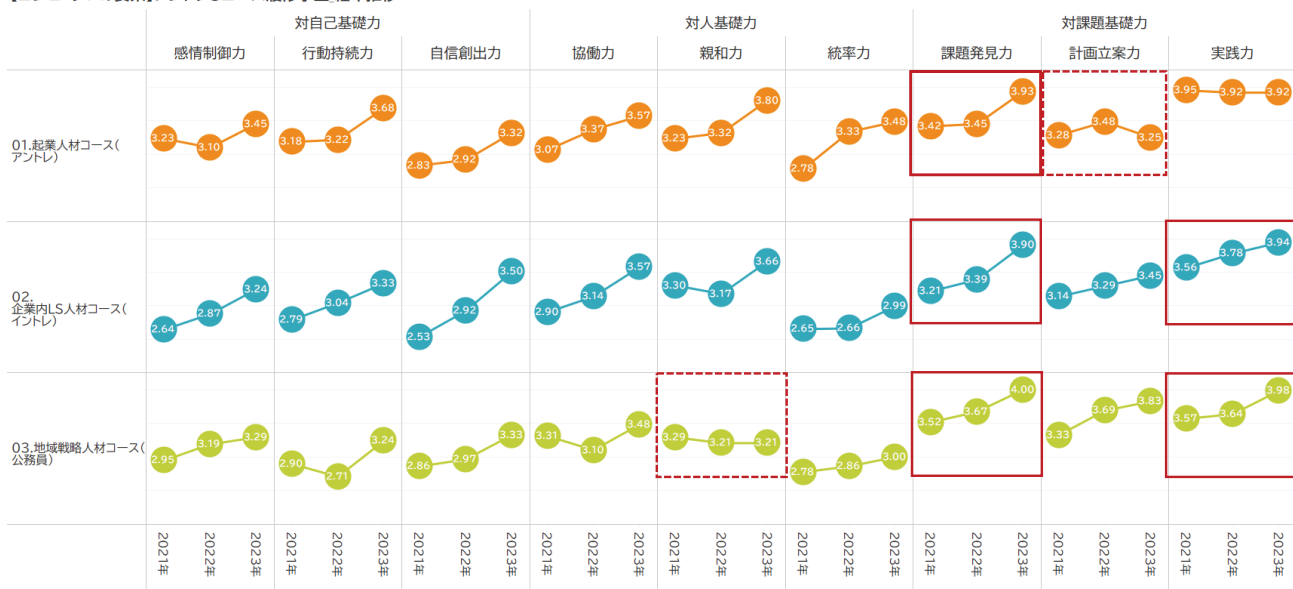
	3年連続受験	内訳
アントレ3コース	221人	起業人材(60人/履修学生の46%) 企業人材(103人/履修学生の63%) 地域戦略人材(58人/履修学生の66%)
アントレコース外	330人	ベーシック(71人) 教職(60人) スポーツ(10人) 学科専門中心(189人)
合計	551人	

Copyright © 2023 Taisho UNIVERSITY ALL Rights Reserved.

## 1.【コンピ:9つの要素】アントレ3コース履修学生の経年推移

- ✓ 起業人材はもともと実践力が高いが、「課題発見力」が3年次で3.9以上のスコアに伸長している
- ✓ 企業内LS人材は「課題発見力」や「実践力」が3年次で3.9以上のスコアに伸長しているが、元々低かった「自信創出力」も伸長率でみると高い
- ✓ 地域戦略人材は「課題発見力」や「実践力」が3年次で3.9以上のスコアに伸長しているが「親和力」の伸び悩みについては懸念点

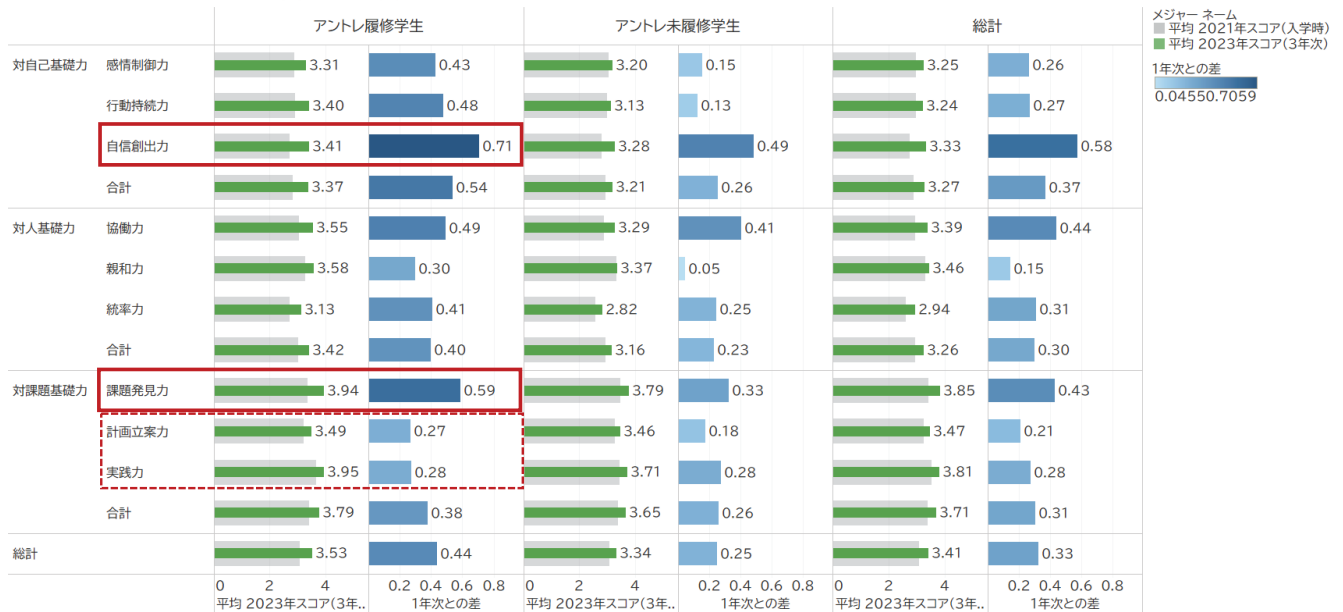
【コンピ:9つの要素】アントレ3コース履修学生 経年推移



## 2. 【コンピ:9つの要素】アントレ履修学生と未履修学生の経年比較

- ✓ アントレ履修学生のコンピテンシーの中で最も伸び悩んだのが「計画立案力(+0.27)」「実践力(+0.28)」
- ✓ アントレ履修学生のコンピテンシーの中で最も伸長したのが「自信創出力(+0.71)」「課題発見力(+0.59)」

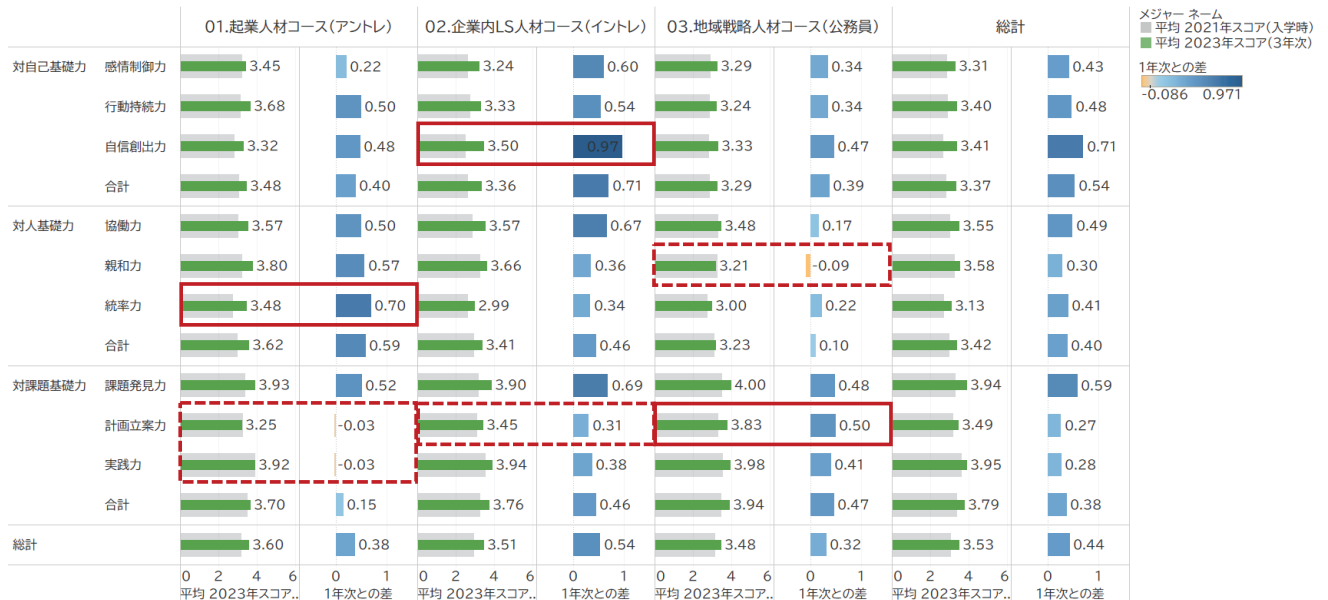
【コンピ:9つの要素】アントレ3コース履修学生と未履修学生の1年次と3年時の比較



## 3. 【コンピ:9つの要素】アントレ3コース履修学生の経年比較

- ✓ 起業人材で最も下落しているのが「計画立案力」と「実践力」(-0.03)、伸長しているのは「統率力(+0.70)」
- ✓ 企業内LS人材で最も伸びなかったのが「計画立案力(+0.31)、伸長しているのは「自信創出力(+0.97)」
- ✓ 地域戦略人材で下落しているのが「親和力(-0.09)、伸長しているのは「計画立案力(+0.50)」

【コンピ:9つの要素】アントレ3コースの1年次と3年時の比較



## ふり返りからのまとめ

- ✓ **教育プログラムについては今後の改善と伸長の余地**がある。
- ✓ プログラム全体評価項目のひとつである「スキル習得と成長実感」等項目では評価は高くないものの、育成すべき資質・能力ごとに確認すると2年次末と比較してすべての項目で伸長し、特に「未来をイメージできる力」などは大きく伸長している。一方でアントレプログラムでの重要な資質・能力である「**創造性とイノベーション**」や「**ポジティブシンキングとチャレンジ精神**」の育成においては課題があり、担当教員とも議論しながら**授業改善の具体的な案を練っていく必要がある**。
- ✓ PROGの1年次の結果と比較してもコース受講学生のコンピテンシーは未受講学生よりも伸長しており、プログラムの一定の成果が出ていると評価できる。
- ✓ 對自己基礎力の「**自信創出力**」や対課題基礎力の「**課題発見力**」は特に伸長していることから、**伸長した力をどう対課題基礎力の「計画立案力」や「実践力」もしくは「創造性とイノベーション(新しい価値を生み出す力)」や「ポジティブシンキングとチャレンジ精神(前向きに様々な事柄へ挑戦していく力)」に発展させていくかが課題である**。授業改善のみならず、**正課外の取り組み(外部との接点を早期から設ける)などの仕掛けも重要**と考える。
- ✓ また学生のふり返りや授業への期待などのアンケート結果からも**プログラム履修に対する学生の視座がやや低く『就活に活かせる、もしくは活かしたい授業』という位置づけにとどまっている**。本プログラムは「**地域戦略人材育成**」を強化するプログラムと位置付けていることから、令和6年度においては次の点を特に強化して取り組んでいく。

## 令和6年度の重点課題

### 1. 学生へのプログラムの教育目標の理解浸透の推進

- 👉 「**地域戦略人材**」の価値を正しく理解し、短期だけではなく、中長期の視点で主体的に目標を設定できるように学生の視座が高まる取り組みを様々な場面で仕掛けていく。

### 2. 教育目標到達のための授業改善

- 👉 各担当教員にプログラムの到達目標と現状とのGAPを正しく認識してもらい、具体的な授業改善に取り組んでもらう。

### 3. 学生と社会との早期接点強化による経験学修の推進

- 👉 数日間のインターンシップへの参加など早期から外部での経験値を高める機会を増やしていくと同時に社会経験や実務経験から次の学びや成長につなげていくサイクルを強化していく。



# MAKE YOUR UNIVERSE.

一緒にだからつくれる世界を。